

GAPの概要

所在地：北海道久遠郡せたな町
認証：JGAP (H30年 豚)
応募区分：GAP 部門 個別経営の部

経営の概要

飼養母豚数：150頭（年間出荷量4,200頭）
構成員：2名（代表の高橋洋平氏と獣医師の佐和子夫人）、従業員2名、パート1名
JGAPのほか、農場 HACCP や SPF 農場の認定も取得。

取組の紹介

【GAPに取り組んだきっかけ】

- 地域に愛される豚肉をつくるため、徹底した衛生管理による安心安全な豚肉の生産を目標。
- 新豚舎を建築し「農場 HACCP」の取得により、全ての工程ごとに厳格な衛生管理体制を構築。
- GAP 認証取得により更なる効率化と生産性向上を図る。

【GAPの継続に向けた取組】

- 関係機関と連携して生産管理検討会を毎月開催し、数値化した成績を分析してスピーディーな改善を実施。

【経営改善に向けた取組とその効果】

- SPF 飼養管理方式の導入や、人工哺育器の活用、グループ生産システム（3-7方式）の確立により疾病の少ない飼養管理を実現（母豚1頭当たり28頭の豚を出荷（全国平均H30年22頭））。
- 6次産業化の実施（若松ポークマンの直売所）、地域の飲食店等での若松ポークマンの採用、地域のくず米を飼料とする耕畜連携の実施など、地域に根付いた養豚経営を実現。

【地域の内外への波及に向けた取組】

- 関係機関と連携した小学校での食育活動を実施し、本年度の道食育推進優良活動表彰を受賞。
- GAP や HACCP に関する研修会等での講師及び事例発表等の普及活動を実施。
- 障害のある方を豚舎の清掃補助として定期的に受け入れる等、農福連携にも配慮。

HP・SNS等

◆高橋畜産 HP <https://porkman.jp/>



高橋畜産のご家族



衛生的でストレスのない豚舎



若松ポークマンの商品